

実績 いのちの杏

○作業内容

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起	21.10				ロータリー耕
カバークローブ播種	21.10～		10kg		ロータリー播種機
レーザーレベラー 土壌改良材散布	22.3.～ 22.3	スリヤグアノ ミネグリーン	20kg 17kg		レーザー整地 ブロードキャスター
種子消毒	22.3月上旬	温水			温湯消毒
播種	22.4月上旬	水稻覆土専用培土(無肥料) 発酵鶏糞 籾殻炭	8.2リットル 0.1kg 0.05リットル		10 ² 20枚換算
発芽	播種後 5～7日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認 後～田植 終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	22.3上～ 4月				ロータリー耕
水管理作業	22.4上 旬～落水 まで				軽トラック、 1.5トン、 2トン車等
代掻き作業	22.4上旬 ～5月中 旬				代かきハロー
田植え	22.4下旬 ～5月下 旬	新NS ルーチン粒剤	14kg 1kg	3.78kg 1回	田植え機 肥料同時散布 植え付け坪あたり 株数50～60株植え
除草剤散布	田植え後 10日	銀河ジャンボ	1kg	3回	
除草剤散布	22.6月	バサグラン液剤	0.1 ² リットル	1回	ブームスプレーヤ で散布
肥料散布	22.7上～ 8上	マグマリーン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		水口から流し込み
収穫、乾燥	22.9中～ 10上				自脱コンバインに よる収穫及び遠赤 乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合 わせ順次 調整				粗撰、籾すり、網 目選、石抜き、色 彩選、水分選、袋 詰、特裁格付け、 農産物検査以降出 荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値(慣行)	節減割合
5	16	5

窒素施用量(kg/10a)		
窒素量	基準値(慣行)	節減割合
3.78	8	5

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
銀河ジャンボ	ダイムロン	25.0%
	ピラクロニル	5.0%
	メタゾスルフロン	2.5%
バサグラン液剤	ペンタゾンナトリウム塩	40%

肥料の名称 ※	窒素成分割合 (%)
新NS	27

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び 化学肥料施用量 (kg/10a)		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
22年9月1日小野崎勇治 	5回	3.78kg	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--